

# 新たな四国圏広域地方計画

プロジェクト検討参考資料  
( 説明 図 表 )

平成27年 10月

四国圏広域地方計画協議会

## 目的・コンセプト

### ■安全・安心に暮らせる災害に強い圏域の形成

- ・南海トラフ地震への対応力の強化により、安全で安心して暮らせる四国圏を実現する。
- ・近年の気候変動により激甚化する自然災害に備え、災害による被害から生命や財産を守り、安全・安心を確保する。

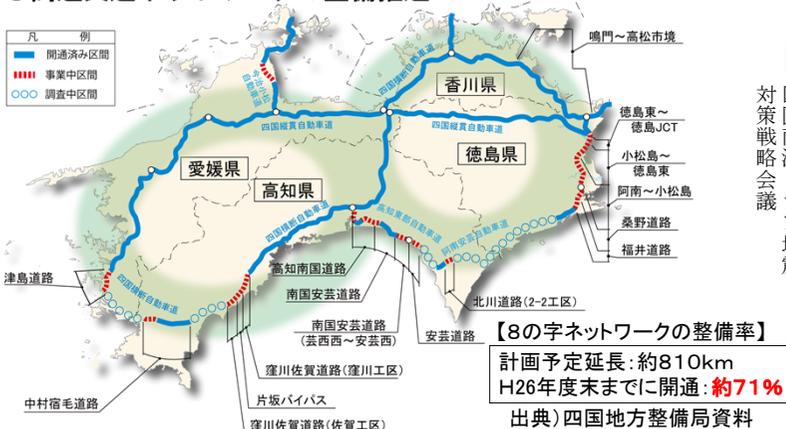
### ■地域の暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進

- ・加速するインフラ老朽化への対策としての予防保全の実施、戦略的メンテナンスによる安全確保を実現する。

## 目的を達成するための具体的取組（検討中）

### ①南海トラフ地震に対する安心・安全を確保

#### ●高速交通ネットワークの整備推進



▲四国8の字ネットワークの整備状況

#### ●地震津波対策の推進



▲海岸堤防の補強（事例）



▲物資搬入訓練（事例）



▲総合防災訓練（事例）

#### ●四国地震防災基本戦略を関係各機関との連携により推進



▶ 四国南海トラフ地震対策戦略会議

・国、県等の行政機関、学識経験者、経済界等幅広い分野の方々参加の下、四国地方における南海トラフ地震等の巨大地震に対する「四国地震防災基本戦略」を取りまとめ、推進するために設置

### ②台風・豪雨等の自然災害に備える

#### ●治水事業の実施

▶ ダム改造事業（事例）



### ③暮らしを支えるインフラの老朽化対策の推進

#### ●インフラ施設の定期的な点検の実施

・あらゆるインフラ施設が安全に利用できるよう計画的な定期点検と措置を実施



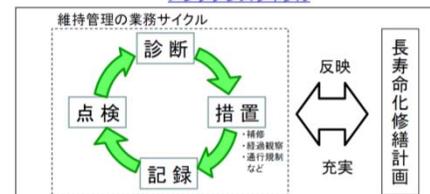
▲橋梁点検車による定期点検（事例）

▲栈橋下面部の定期点検（事例）



▲炭素繊維シートによる床板ひび割れ対策（事例）

#### ●持続可能なメンテナンス体制とメンテナンスサイクルを構築



・ライフサイクルコストを踏まえた予防保全の実施により、耐久性が高く効果的な対策を施工し、ライフサイクルコストの最小化を図る

## 目的・コンセプト

### ■四国遍路と遍路文化を有する圏域の魅力を発信する

- ・四国霊場八十八箇所巡礼の歴史の中で培われてきた「遍路文化」を四国共通の文化・アイデンティティとして、次世代に引き継いでいく。
- ・巡礼者が、安全で快適に巡ることができる遍路道の整備、各札所周辺・遍路道の文化的、広域的景観の整備及び保全、情報提供に取り組んでいく。

### ■四国の伝統的な文化を次世代に継承する

- ・四国圏における伝統文化の交流を促進し、歴史や文化を次世代に引き継ぐ人材の育成を図る。

## 目的を達成するための具体的取組（検討中）



▲遍路道



▲お接待

### ① 遍路文化を核とした四国遍路の魅力発信

#### ●四国遍路の世界遺産登録に向けた取組

- ・四国遍路の魅力を国内外に広く紹介、国内外に向けた普及・啓発活動

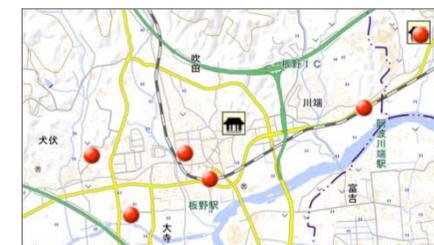


▶ 普及・啓発活動（事例）のぼり

### ② 遍路道、札所周辺の環境整備・トイレマップの作成



- ・遍路道の修繕などの安全対策、案内標識等の整備



- ▲周辺の公共施設等で利用可能なトイレを紹介したトイレマップをHPにて公表

### ③ 伝統的な文化を次世代に継承

#### ●四国の伝統を継承する交流連携の取組

- ・中四国の連携による文化交流、伝統芸能の継承に向けた情報発信等の促進



【愛媛県今治市】「継ぎ獅子(つぎし)」と呼ばれる伝統的な獅子舞「野間獅子連中」

・本プロジェクトは中国圏等の隣接する圏域とも連携した取り組みを行う

## 目的・コンセプト

### ■4県連携による「自転車」を軸とした新たな魅力、美しい瀬戸内海を背景とした「芸術」の魅力を国内外へ発信

- ・四国島内の周遊サイクリングルート of 整備や全国的な「自転車」イベントを呼び込むことで、国内外からのサイクリストを呼び込む。
- ・瀬戸内の島々に点在する多様な歴史・文化遺産、美術館・博物館等の魅力を「アート」を軸として高めることで、島々の活性化を図る。

### ■四国圏の魅力を国内外に発信するための取組を推進し、観光振興と地域活性化を図る

- ・「広域観光周遊ルート」の形成により、コンパクトな四国や素朴さをアピールし、海外からの誘客に向け、四国が一体となって取り組む。
- ・四国圏が誇る四国らしい風景や街並みなどの景観を「四国八十八景」として選定し、四国圏への観光客増加と地域活性化の実現を図る。

## 目的を達成するための具体的取組（検討中）

### ①「自転車」を軸とした連携による魅力発信

#### ●自転車イベントの開催等



▲国際大会の開催 ▲ブルーラインの整備

- ・サイクリングに適した四国を4県連携で「サイクリング・アイランド四国」として強く世界に売り込み、海外からの観光客の誘致拡大を図るとともに、安全に走行できるインフラ整備を推進

### ②「アート」を軸とした連携による地域活性化

#### ●瀬戸内国際芸術祭

- ・瀬戸内の島々に活力を取り戻し、瀬戸内海が『希望の海』となることを目指し3年に一度開催

瀬戸内国際芸術祭2013▶



#### ●せとうち美術館ネットワーク



- ・JB本四高速による文化芸術など多様な観点から沿線地域のネットワーク化の支援取組

◀せとうち美術館マップ

### ③「広域観光周遊ルート」のPRによって海外からの誘客を促進

#### ●広域観光周遊ルート



- ・四国独自のお遍路やお接待の心や文化を基に広域観光周遊ルートを設定し国外からの誘客を促進

▲お接待の心や精神が根付いている四国圏の外国人お遍路さんへのお接待



広域観光周遊ルート『スピリチュアルな島～四国遍路～』

出典) 四国ツーリズム創造機構資料

「アート」による連携  
 「自転車」による連携  
 「素晴らしい景観」による連携  
 「広域観光周遊ルート」による連携

世界へ魅力発信

### ④「素晴らしい景観」で四国来訪者を倍増

#### ●四国八十八景プロジェクト



素晴らしい眺め  
<要件> 素晴らしい眺めが長く保たれる取組みなど



眺める場所  
<要件> ふさわしい環境整備など

四国八十八景

- ・四国らしさの感じられる素晴らしい景観を『四国八十八景』に選定し、東京オリンピック・パラリンピックに向けたプロモートを実施し、四国来訪者を増加

## 目的・コンセプト

### ■きめ細かな情報提供や相談対応などの移住支援策により、圏域外からの移住者を増加させ、地域や経済の活性化を図る

- ・四国圏の魅力発信により移住希望者の候補地となり、また移住希望者への具体的な支援により移住定着化の促進となることを目指す。

### ■子育て支援、少子化・高齢化に合わせた仕組みの構築、コンパクト+ネットワークの推進で、魅力あふれる『住みたい四国』を形成

- ・医療・福祉等サービス体制の整備と子育て等の支援の充実による暮らしの快適性を高め、住みやすい、住みたくなる地域を目指す。
- ・若者の定着に向けた働く場づくりや女性・高齢者の活躍の場づくりによる地域資源となる人材の確保など、活力・魅力があふれる地域の形成を目指す。
- ・拠点機能のコンパクト化や、地域の公共交通網再構築によるネットワーク化により、都市機能の維持を目指す。

## 目的を達成するための具体的取組（検討中）

### ① 人口減少対策としての移住促進

#### ●移住促進に向けた情報発信

- ・大都市で四国への移住相談や魅力紹介セミナー等を開催



▲四国暮らしフェアの開催

- ・様々な媒体を用いた移住に関する情報発信を実施



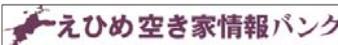
▲冊子による移住情報の発信（事例）



▲webによる移住情報の発信（事例）

#### ●移住に向けた様々な支援

- ・空き家バンクに登録した物件を移住希望者に紹介



▲空家バンクによる情報発信（事例）

- ・子どもたちの学ぶ意欲や自立心を育むとともに、農山漁村を活性化『農山村・漁村留学制度』



▲山村留学（事例）

### ② 子育て支援制度の充実

#### ●相互連携・協力による子育て支援事業

- ・四国4県の連携による子育て家庭を対象とした割引や支援サービスの相互提供などの取組促進や、各県の認証制度による子育て支援活動促進を目的とした事業



（愛媛県）

各県による「子育て家庭を応援してくれる店舗の認証制度」マーク

（香川県）



子育て家庭にやさしい四国

（徳島県）



（高知県）



▲子育て家庭応援事業四国協議会による『子育て家庭にやさしい四国』

### ③ 少子化・高齢化への対応策の強化

#### ●少子化対策の実施

- ・四国経済連合会、四国少子化対策会議主催（共催：四国4県、四国商工会議所連合会）による少子化問題シンポジウムがH27.2に初めて開催されるなど、各県の取り組みにより四国圏が一体となった少子化対策を推進



▲少子化問題シンポジウムの開催

### ④ コンパクト+ネットワークの推進

- ・「小さな拠点」の形成や「地域の公共交通ネットワークの再構築」、「道の駅」の活用等による『コンパクト+ネットワーク』の推進



▲廃校を利用した集落活動センター（事例）



▲道の駅を活用した地域づくり（事例）

## 目的・コンセプト

## ■地域に根ざした産業が集積し、競争力を発揮する四国

- ・四国圏の産学官が連携し、地域が一体となった産業競争力の強化を図る。
- ・ものづくりの高い技術力等を官民挙げて売り込むことで、受注機会の拡大を図る。

## ■産業を支える人材の育成・確保

- ・様々な世代、ニーズに応じた学びや交流の場を創り出し、四国圏の産業の成長を支える多様な人材を育成する。

## 目的を達成するための具体的取組（検討中）

## ①地域資源や技術を活かし、産学官の連携を深め、世界に通用する産業競争力を強化

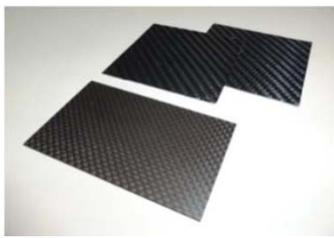
## ●地域一体による産業強化策 ●高機能素材関連産業の創出 ●イノベーションの促進 ●産業を支えるインフラ整備

- ・国と地域が連携し、競争力の強化に向け『四国産業競争力強化戦略』を策定



▲四国地方産業競争力協議会

- ・素材の高度な機能を活用した高付加価値製品の開発・供給拠点の形成



▲高機能素材（炭素繊維素材）

- ・四国の企業と四国内外の大企業・大学等との技術マッチングによる競争力強化



▲技術マッチング

- ・物流基盤機能強化のためのインフラ整備を四国各県で促進



▲国際物流ターミナルの整備（事例）

## ③産業の成長力を支える人材を育成・確保

## ●次代を担う人材の育成

- ・産業人材の育成研修や交流ネットワークづくりを連携して行い、次代を担う人材を育成



▲人材育成セミナー

## ●四国の活力となる人材の確保

- ・森林資源の持続的な循環利用を推進し、この恩恵を次世代に引き継いでいくための取組



▲森林づくりリーダー養成講座

## ②技術力や特産品を国内外へ売り込み、新たな市場を切り拓く

## ●四国産品の6次産業化による販路拡大 ●四国産品やの国内外への売り込み ●間伐材の需要拡大に向けた取組



▲四国産品の数々

- ・四国が連携した新たな機能性表示制度の活用や6次産業化の推進により、魅力ある四国の食の付加価値をさらに高め、販路拡大・食のブランド化につなげる



▲販路拡大に向けた四国フェアの開催

- ・四国4県連携による大都市圏での認知度向上や東アジア市場をターゲットとした四国ブランドイメージの向上による販路開拓



▲木質バイオマスボイラー

- ・大規模需要者等と協定を締結し間伐材を大量かつ安定的・計画的に供給するシステムの販売